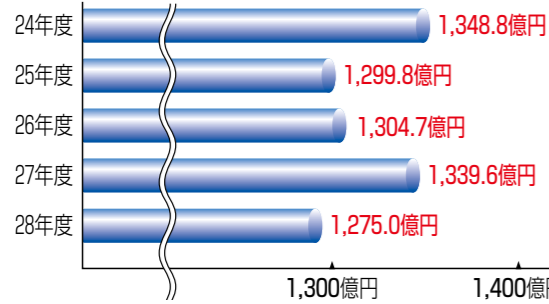


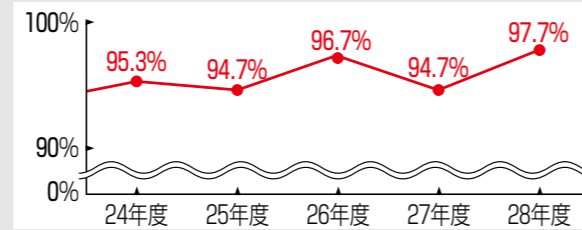
## 市債残高の推移(一般会計)



市債の残高は、家計ではローンの残高に例えられます。将来負担を軽減させるため、残高を減少させていくことが大切です。28年度は本庁舎整備事業などの投資的経費が減少した結果、27年度よりも借入額が減少しました。これに伴い、借入残高も減少しています。

## 経常収支比率の推移

市の通常の収入のうち、定期的な支出に使われる割合は97.7%。家計に例えると100万円の収入のうち約98万円が食費やローンの返済などの経常的な支出に使われていることとなります。この数値が高くなるほど臨時的な支出に対応しにくくなり、28年度は前年度より3.0%高くなりました。



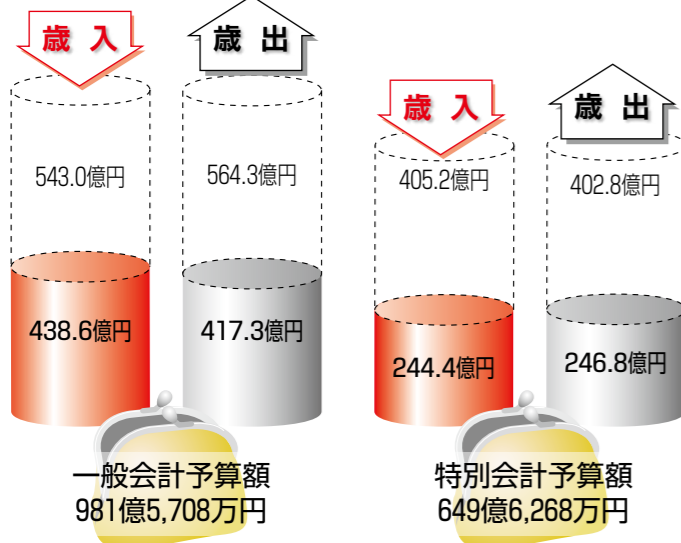
## 28年度特別会計の決算額

特別会計	歳入	歳出	29年度へ繰り越したお金	手元に残るお金
国民健康保険事業(事業勘定)	299億9,325万円	287億4,996万円	0円	12億4,329万円
介護保険事業(保険勘定)	223億7,136万円	217億3,546万円	0円	6億3,590万円
後期高齢者医療事業	35億7,195万円	34億2,054万円	0円	1億5,141万円
港湾整備事業	9億4,007万円	9億4,007万円	0円	0万円
臨海土地造成事業	16億1,708万円	16億1,285万円	0円	423万円
集落排水事業	3億4,954万円	3億4,954万円	0円	0万円
その他の特別会計	31億5,514万円	30億8,281万円	1,110万円	6,123万円
合計	619億9,839万円	598億9,123万円	1,110万円	20億9,606万円

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計とは別の財布を設けてお金の管理をしています。特別会計の収支が悪化すると、それをカバーするために一般会計から特別会計へ繰り出すお金が増加する場合があります。そのため、一般会計に過度の負担にならないよう、各特別会計の財政状況の健全化に努めています。

## 29年度の予算執行状況 9/30現在

上半期の一般会計・特別会計の執行状況です。※両会計とも、今後開会される市議会で予算額を変更する場合があります。



## 市債・一時借入金の状況

●市債の現在高(9/30現在)

一般会計	1,211億2,308万円
特別会計	258億9,184万円

※一時借入金は、9/30現在ありませんでした。

市民一人当たり(人口228,636人)

一般会計	529,764円
特別会計	113,245円

## 市の財産 ( )内は前年同期

土地 27,173,314㎡ (27,299,454㎡)	建物 1,190,327㎡ (1,206,395㎡)
有価証券 3,910万円 (3,910万円)	基金 185億4,771万円 (167億7,008万円)

# 呉市の家計簿

私たちが納めた税金はどのように使われているのでしょうか？今回は、平成28年度決算や29年度上半期予算の執行状況についてお知らせします。

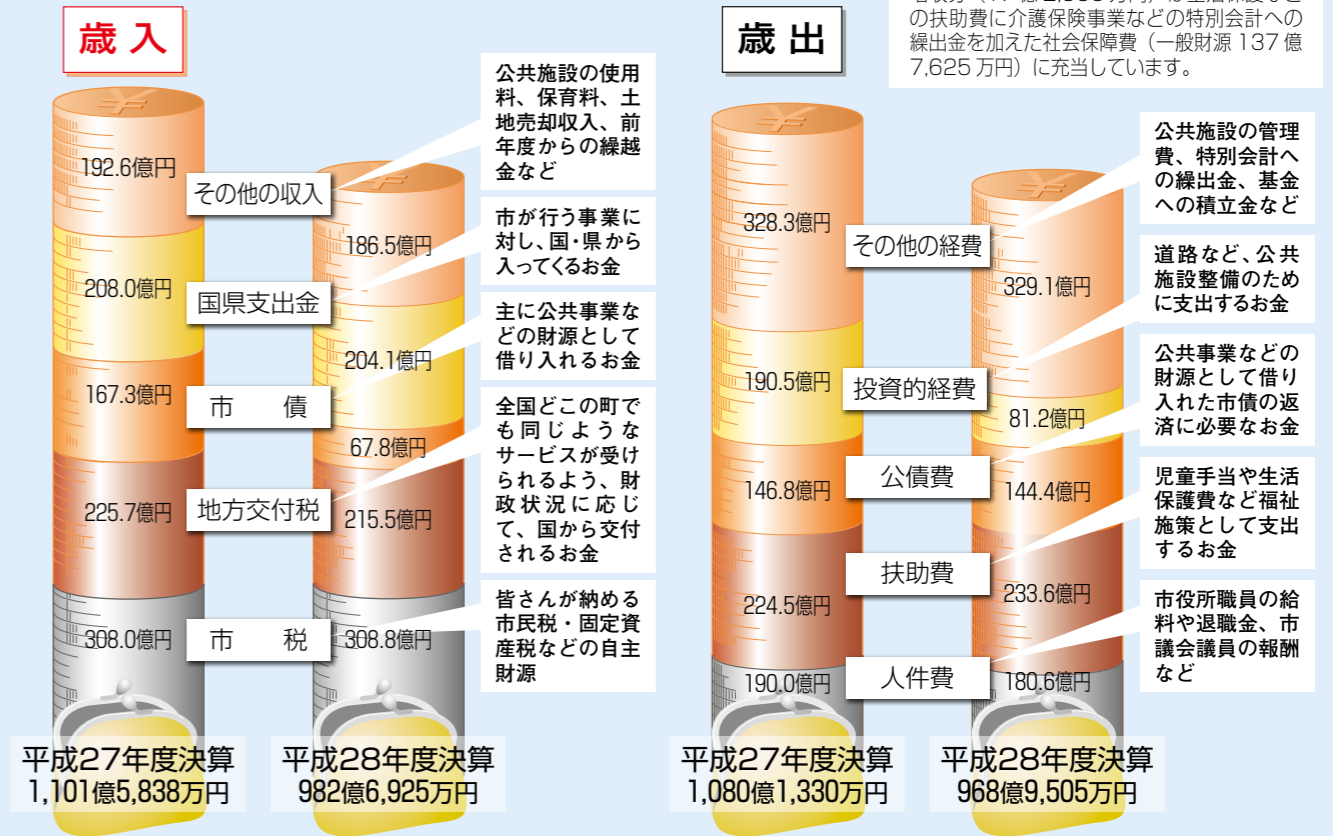
問 財政課 ☎ 25-3188

**一般会計**：福祉や教育、まちづくりなどを行う財布です。

**特別会計**：国民健康保険など特定の事業を行うため「一般会計」と分けている財布です。



## 27年度・28年度の呉市の一般会計決算額を比較すると...



28年度の歳入は、27年度と比べて約119億円減少しました。市債が約100億円、地方交付税が約10億円減少したことが主な要因です。

28年度の歳出は、27年度と比べて約111億円減少しました。扶助費が約9億円増加し、投資的経費が約109億円減少したことが主な要因です。